（様式2）　　　　　　　　　　　　資金分配団体名：公益財団法人みらいファンド沖縄

休眠預金活用事業　事業計画書

※枠内に図表や画像を挿入いただいても構いません。

※枠内に収まらない場合は、ページ数を最大で10Pまで増やしても構いません。

※赤文字は記入のための説明や事例なので、提出時には削除してください。

I.基本情報

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名（主題） |  | | | |
| 事業名（副題） | （任意）副題がある場合のみ記載してください。 | | | |
| 申請団体名  （法人格+団体名） | 法人の種類を含めた登記事項証明書と同じ名称が入力されていることを確認してください。（例：一般財団法人日本民間公益活動連携機構） | | | |
| 設立年・法人化年月（西暦で記載） | 設立年 | 西暦　　　　　年　月 | 法人格取得年 | 西暦　　　　　年　月 |
| 組織の形態 | ☐ 法人化済（　　　　　　　）　　☐ 任意団体　☐ 設立準備会等 | | | |
| コンソーシアム申請：　☐ 有　　☐ 無 | | | |
| 団体の目的  （200文字以内） | 申請団体の設立目的やビジョン等を記載してください。 | | | |
| 団体の  概要・活動・業務（200文字以内） | 申請団体の概要、事業内容や活動実績等を記載してください。 | | | |

優先的に解決すべき社会の諸課題（該当に✔︎）

申請事業の活動内容、直接対象とする人々や集団と直接関連する「優先的に解決すべき社会の諸課題」の領域・分野を選択してください。

※複数の領域、分野を選択することも可能ですが、間接的または手段として行うものは選択しないでください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 領域 | | 分野 | |
| ☐ | 1) 子ども及び若者の支援に係る活動 | ☐ | ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 |
| ☐ | ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 |
| ☐ | ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 |
| ☐ | ⑨その他 |
| ☐ | 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 | ☐ | ④働くことが困難な人への支援 |
| ☐ | ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援 |
| ☐ | ⑥女性の経済的自立への支援 |
| ☐ | ⑨その他 |
| ☐ | 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 | ☐ | ⑦地域の働く場づくりの支援 |
| ☐ | ⑧安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 |
| ☐ | ⑨その他 |
|  | 上記以外その他の解決すべき社会の課題 | 上記で「その他」を選択した場合、その領域と分野を記載してください。 | |

SDGｓとの関連

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ゴール（別添「SDGｓグローバル指標一覧」の1～17の中から該当するものを入力。1個以上、5個まで設定可能） | ターゲット（別添「SDGｓグローバル指標一覧」の1～17の中から該当するものを入力） | 関連性の説明  ：解決すべき社会課題と、選択したSDGｓのゴールおよびターゲットがどのように関連するのかを記載してください。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

Ⅱ.事業概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 助成申請額 | 円 | |  | |
| 事業の実施期間 | 西暦　　　年　　月　　日　　〜　　　年　　月　　日 | | | |
| 対象地域 |  | | | |
| 本事業における、不動産（土地・建物）購入の有無  ※該当に✔︎ | ☐ | あり | | ※助成金で土地の購入はできません。建物の購入（建物新築含む）は原則できませんが、事業目的の達成のために必要不可欠であり、他に代替手段がない場合に限りJANPIAと資金分配団体の事前の承認を得たうえで、特例として認めることとします。詳しくは公募要項をご確認ください。 |
| ☐ | なし | |
| 事業対象者 |  | | | ※事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む |
| 事業対象者人数 |  | | |  |

Ⅲ．事業の背景・課題

|  |  |
| --- | --- |
| 1．対応をしたい対象者や地域/テーマ型コミュニティの課題とは（800字以内） | 事業を通じて社会的孤立を予防したい対象者や地域/テーマ型コミュニティの課題とその状況について記載してください。 |
| 2．本事業を必要とする意義と対象者の特徴やテーマ・地域性について（200字以内） | 本事業を実施・必要とする意義、背景についての理解や考え、並びに対象者の特徴やテーマ/地域の特性を記載してください。 |
| 3．1、2に対して、すでに行政等が行っている取り組みについて（200字以内） | 本事業の対象者や地域/テーマ型コミュニティの課題に対する、行政等の既存の取り組みの状況（活動や支援の内容、利用者数、利用者の変化など） |
| 4．本事業を必要とする活動の経験や、改善させたい活動内容とは（200字以内） | 本事業を実施・必要と考えるに至った経験または既存の取り組み状況や、これまで実施・携わった活動の中で改善させたいと思う部分について記載してください。 |
| 5．休眠預金を活用して本事業に取り組む意義とは（200字以内） | ※事業説明会で設問の意図を補足説明しますので、その内容をふまえて、記載してください。 |

Ⅳ．事業設計

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1．事業内容（活動）  (各項目300字以内) | 1）アクセスしやすい「居場所」について | 以下の3点をふまえて書いてください。 ①「居場所」の対象 ②対象者へのアプローチ（呼びかけ）方法 ③利用者が気軽にアクセスできるための工夫 |
| 2）リンクワーカー像とその育ち方・育て方について | 以下の3点をふまえて書いてください。 ①お考えのリンクワーカーの配置計画 ②リンクワーカーの育ち方（育て方） ③リンクワーカー像のアイディア・意見 |
| 3）居場所が「続く工夫」とステークホルダーとの連携について | 以下の3点をふまえて書いてください。 ①継続の観点ですでにステークホルダーと取り組んでいること ②事業を通して新しくつながりたいステークホルダーと、ともに取り組みたい活動 ③継続のための必要な資源調達に関するアイディア |
| 2．中長期的な事業目標（中長期アウトカム）（300字以内） | 事業終了後3〜10年後以降に、事業実施によって対象者や対象地域/テーマのコミュニティがどのような状態になっていることを目指しているか記載してください。  ＜記入例＞事業終了後●年後に（対象地域）において〇〇することにより、（対象者）が〇〇された地域や社会になる | |

3．事業内容に沿って実施を考えている活動について記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 活動（1つ以上、個数は任意）（200字） | 時期 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

4．助成終了後1～2年後に目指す状態（アウトカム/事業実施によって生み出したい状態)について記載してください（赤字は記入例）。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業の成果目標  （短期アウトカム）  事業終了時に事業実施によって事業対象グループがどのような状態になり、どのような社会になることを目指しているかを記載してください。（100字）  記入例：（対象地域）において（○○の活動結果）により（対象グループ）が（ｘｘ）になる。  ※合計10つまで設定可能 | | 実施・到達状況の目安とする指標（100字）  アウトカム指標は、アウトカムを何で測るのかを明示するものです。  ＊指標の項目数の設定は任意ですが、 定量的指標、定性的指標の複数を設定することを推奨します。 | 事業スタート時の状態（初期値）（100字）  初期値とは事業実施前のアウトカム指標の状態を示した値です。各アウトカム指標の初期値を記載してください。  ＊初期値設定のための調査が必要な場合は、採択後に調査を行うことも可能です。 | 事業終了時の状態（目指す値）（100字）  目標値とは事業実施により達成したいアウトカム指標の状態を示した値です。各アウトカム指標の目標値を記載してください。また、各アウトカムに対して、達成したい時期を年月で記載してください。 |
| 記入例 | 対象者があいまいな居場所の意義が地域と合意されている状態 | 地域での共同での運営体制が整備されている | 団体が単独で運営している | いろいろな資源で運営ができていて、関わる組織数が複数の状態 |
|  | |  |  |  |
|  | |  |  |  |
|  | |  |  |  |
|  | |  |  |  |
|  | |  |  |  |

Ⅴ.広報戦略および連携・対話戦略

|  |  |
| --- | --- |
| 広報戦略 | 休眠預金等活用事業とその成果を多様な広報媒体、報告等により発信するための広報戦略について、実施内容、ターゲット、手段、期待される効果等を記載してください。（200字） |
| 連携・対話戦略 | 他のセクター、団体、企業等の事業への参画、多様な関係者（ステークホルダー）との対話など、それぞれを推進する連携・対話の戦略を記載してください。（200字） |

Ⅵ．出口戦略・持続可能性について

|  |  |
| --- | --- |
| 助成期間終了後も 活動を継続させる戦略・計画 | 事業期間終了後を見据え、どのような出口戦略を描き、活動の持続可能性を高めていくための取組みを行うか記載してください。（400字） |

Ⅶ．関連する主な実績

|  |  |
| --- | --- |
| (1)助成事業の実績と成果 | 申請団体のこれまでの中間支援組織としての助成事業の実績と成果を記述してください。（800字） |
| (2)申請事業に関連する調査研究、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等 | 申請事業に関する調査研究の実績を記載してください。他のセクター・団体・企業等との連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等もあればアピールしてください。また、過年度休眠預金で採択された事業と同一内容で申請する場合は、実施状況や事業成果について記載してください。（800字） |

Ⅷ．事業実施体制

|  |  |
| --- | --- |
| (1)事業実施体制（人数、マネジメント体制、経理体制）、メンバー構成および各メンバーの役割・スキル等 | （記入例）  ・実施体制･･･内部7名、外部2名  ・マネジメント体制･･･事業部長（事業統括）1名  ・経理体制･･･経理主担1名、補佐2名  ・評価体制･･･○○大学〇○教授、△△専門家△△氏、計2名  ※経理は、団体経理２年程度の経験または簿記を有する者を想定。  ※○○は、●●事業との兼務想定。本事業50%、●●事業50%想定。  外部人材を活用する場合は目的、役割、配置等を示してください。 |
| (2)ガバナンス・コンプライアンス体制を整備し、機能させるために、現在行っていることまたはこれから行う予定のこと |  |